

特記仕様書

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は琴浦町内において、河床掘削を行う工事に適用する。

(起工測量)

第2条 受注者は起工測量の実施に当たって次に掲げる事項に留意すること。

2 測量の起終点については、その他設計図書に定めのある場合を除き、監督員の承諾を得て決定すること。

3 測量間隔は、その他設計図書に定めのある場合及び監督員の指示のある場合を除き、最低限、「鳥取県土木工事施工管理基準（調達公告時点での最新版）」を満たすよう設定するものとする。

なお、起終点の範囲内に河川横断構造物（帯工等）や取水施設等がある場合は、測点として追加設定することを原則とする。

4 横断測量は掘削範囲のみではなく、両岸の天端高（築堤構造の場合は堤防の形状）が把握できるよう実施すること。

5 起工測量の範囲内に既存の河川管理施設等に損傷、変状、護岸基礎の露頭等が認められた場合は、その程度、範囲等が分かるように写真等を添えて速やかに監督員に報告すること。

(施工図の作成)

第3条 受注者は、その他設計図書に定めのある場合を除き、起工測量の結果を基に施工図を作成するものとする。

(試掘調査の実施)

第4条 受注者は現地着手に当たり、掘削により既設護岸の基礎等に影響を与える恐れがあるときは速やかに監督員に報告し、試掘（基礎位置等の把握）の実施等について協議すること。

なお、試掘に係る経費については、協議の上、設計変更の対象とすることができるものとする。

2 試掘調査の結果、施工図の見直しが必要な場合は、第3条に準じて再度施工図を作成し協議すること。

(疑義)

第5条 本特記仕様書に定めのない事項又は特記仕様書に関し疑義を生じた事項については、必要に応じて甲乙協議して定めるものとする。